

紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業に関する審査結果の公表

令和7年6月26日付けで承認した「紫波町におけるAI, WEB3テクノロジーを用いた地域活性化プロジェクト」及び令和7年9月19日付けで承認した「紫波運動公園陸上競技場グラウンド改修プロジェクト」について、事業者から事業計画変更の提案があり、「紫波町地方創生推進事業審査委員会」委員長による審査の結果、事業計画の変更を承認することと決定したので、次のとおり公表する。

令和8年4月8日

紫波町長 鎌田 千市

1 審査の概要

今回の事業計画の変更内容は、すでに交付決定を行っている既存事業と一体不可分で既存事業と目的を一にしていること、また、事業提案の審査を行った委員の4名中3名（案件による委嘱の委員を除く）が人事異動等により審査委員を退任したことから、変更内容の審査は委員長のみによって行った。

【審査実施者】

委員長 菊地 圭二（紫波町まち・ひと・しごと創生推進協議会
委員長、特定非営利活動法人紫波ing 理事）

2 実施計画の変更内容

(1) 変更提案事業1「紫波運動公園陸上競技場グラウンド改修プロジェクト」

ア 事業者名

株式会社いわてアスリートクラブ

イ 事業概要

事業内容	紫波運動公園陸上競技場のグラウンドを高品質な芝生に改修。芝生の耐久性を高めることで、クラブ利用の緩和を図るほか、町民や児童生徒のスポーツ活動の促進、健康増進につなげる。
実施期間	令和7年10月～令和8年3月 ※令和8年9月まで複数年度実施予定

ウ 変更内容

効率的な芝管理のため、新たに移動式スプリンクラーと増圧ポンプを設置するための追加費用5,500千円を事業費に追加。

(2) 変更提案事業2「紫波町における AI, WEB3 テクノロジーを用いた地域活性化プロジェクト」

ア 事業者名

SOKOLIFETECHNOLOGY 株式会社

イ 事業概要

事業内容	AI を中心とした Web3 テクノロジーを活用して、地域資源を広く世界に周知し、特産品の普及に寄与するほか、伝統芸能の保全、生産者の増進、関係人口の増加を目指し、AI を活用した事業効率の向上も目指す。
実施期間 (提案時)	令和7年7月～令和8年3月 ※令和10年3月まで複数年度実施予定

ウ 変更内容

今後はバレーボールを活用した地域活性化イベントとの連動など、既存の町事業との連携により事業展開を行うことを検討しているため、事業期間を令和8年3月までの単年度事業に変更する。

3 審査結果

「紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業」は、民間事業者が行う地域の活性化等に資する事業に要する費用に対し、当該民間事業への共感により納められた企業版ふるさと納税を活用して資金調達の支援を行うものである。

株式会社いわてアスリートクラブからの事業提案は、総合運動公園の陸上競技場グラウンドに良質な芝を整備することで、クラブチームのみならず地域住民が集い、幅広く活用できる場を創出するものである。追加費用についても、芝の効率的な維持管理の観点から適切と考えられる。

SOKOLIFETECHNOLOGY 株式会社の変更提案についても、事業の進捗を考慮した適切な判断であり、今後は自社の得意領域を生かし、他のフィールドでのさらなる発展を期待する。

紫波町地方創生推進事業審査委員会

委員長 菊地 圭二